

米海兵隊のUH-1ヘリコプターによるつり下げ落下事故に対する抗議決議

3月8日、宜野座村城原区の集落に近い米軍キャンプ・ハンセン内の着陸帯「ファルコン」にて米海兵隊のUH-1ヘリコプターによるつり下げ訓練が約3ヶ月ぶりに再開されたが、乗り物用の複数のタイヤを落下させた。

県や地元周辺からのつり下げ訓練中止の要請を受け、昨年12月9日から訓練を中断していたが、無視する形で訓練再開された矢先の事故である。「地域の我慢は限界」として地元、金武町と宜野座村は3月13日、防衛局を訪れ、ヘリパッド「ファルコン」の閉鎖等を要求した。

人道支援や災害救援の“訓練”のためならば人権や人命が軽んじられ、安らかな生活を求める事すら妨げる事が許容されるという事実は、軍隊の矛盾であり欺瞞に他ならない。また、このような一歩間違えば人命に関わりかねない事故に対しても日米両政府は訓練中止要請への言及を避け、傍若無人な訓練を容認・実施する姿勢は断じて許されない。

墜落事故等の緊急事案が続発する現状において米軍の安全対策は実効性に乏しく、騒音防止協定等を簡単に反故にする姿勢、酒気帯び等の事件や事故に見られる組織全体の緊張感や統制の欠如を鑑みるに重大事故が再発するのではという懸念は拭えない。

町民及び県民の安全が保障されない一切の飛行・訓練は中止すべきであり、訓練を優先し、住民を犠牲にすることは許されない。

我々のこれまでの抗議・要請を一顧だにしない日米両政府の沖縄に対する基地政策は、不安や懸念を一段と深刻化させ決して容認できない。

よって、北谷町議会は、町民及び県民の生命、財産、安全を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議するとともに、下記事項について強く要求する。

記

- 1 民間地上空など訓練空域以外における訓練を中止すること。
- 2 日米地位協定の抜本的な改定を早急に行うこと。
- 3 ヘリパッド「ファルコン」を閉鎖すること。
- 4 在沖米軍基地を速やかに整理縮小・撤去すること。

以上、決議する。

平成29年3月27日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

米国大統領 米国国防長官 米国国務長官 駐日米国大使 米太平洋軍司令官
在日米軍司令官 第三海兵遠征軍司令官 在沖米国総領事